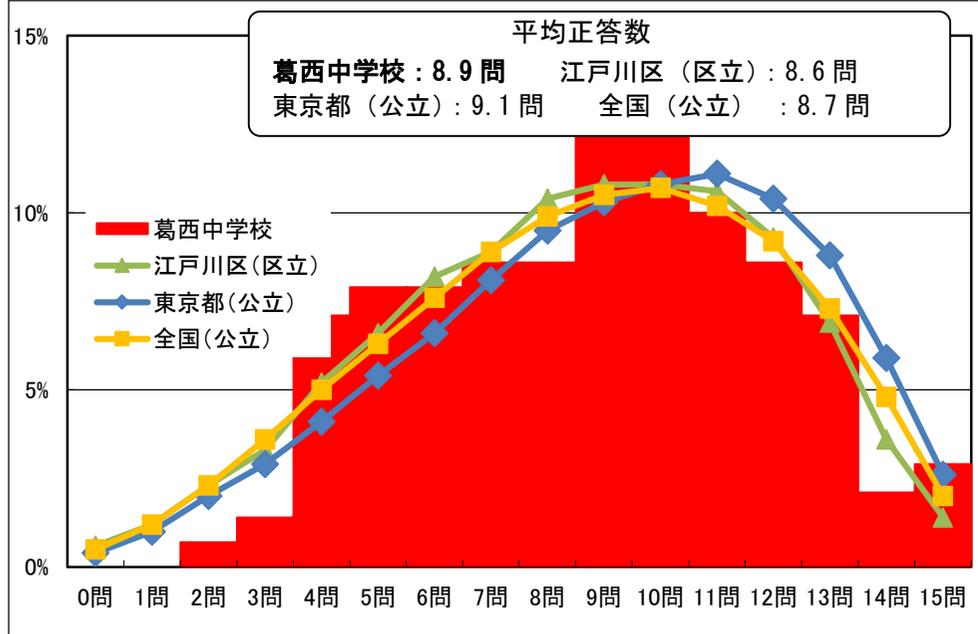
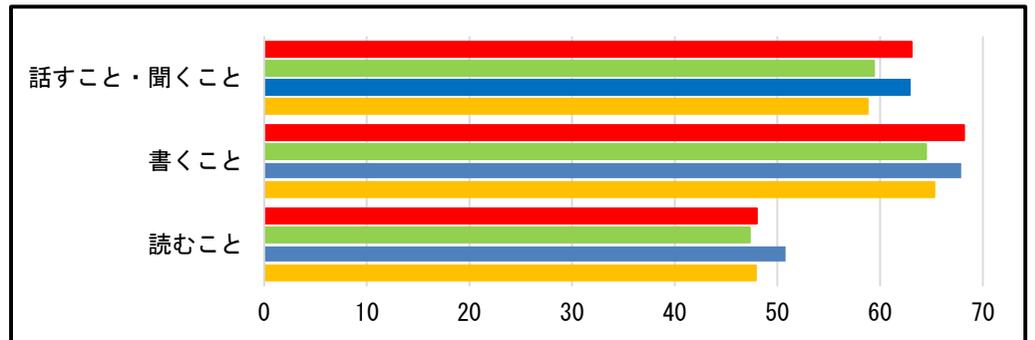
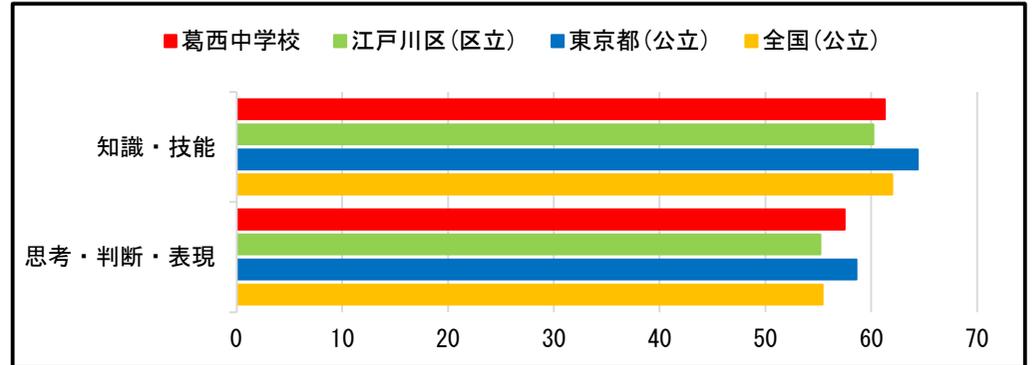


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】江戸川区立葛西中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

| 国語 | 上位 ← 下位 | | | |
|----------|--------------|-------------|------------|------------|
| | A層 12～15問 | B層 9～11問 | C層 7～8問 | D層 0～6問 |
| 葛西中学校 | 20.7 | 37.2 | 17.2 | 25.0 |
| 江戸川区（区立） | 21.2 | 32.2 | 19.3 | 27.3 |
| 東京都（公立） | 27.7 | 32.2 | 17.6 | 22.5 |
| 全国（公立） | 23.3 | 31.4 | 18.8 | 26.5 |

【平均正答率の差】

| | |
|----------|--------|
| 葛西中学校 | 59% |
| 江戸川区（区立） | 57% |
| 東京都（公立） | 61% |
| 全国（公立） | 58.1% |
| 都との差 | -2ポイント |

%

【分析結果と授業改善に向けて】

学習指導要領の3領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の平均正答率において、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」において、東京都の平均正答率をわずかに上回っている。一方で「読むこと」の領域は東京都の平均正答率を下回っている。

また、上位層であるA層の割合が東京都の平均と比べて、大幅に下回っている。

改善案として、応用問題など、思考的な問題に取り組むなど学力向上させていきたい。またワーク等を使い、反復的に学習をさせ、内容を定着していきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。